



文京区



文京区
シンボルマーク



跡見学園
女子大学



森鷗外
100年

鷗外生誕160年没後100年事業 「鷗外から 鷗外へ」

本年は森鷗外生誕160年、
没後100年に当たります。
これからも時代を超えて
森鷗外作品が読み継がれていって
ほしいと願っています。

課題作：森 鷗外

| 青年
| 高瀬舟
| 舞姫
| 最後の一句
| 雁
| 山椒大夫

画像：文京区立森鷗外記念館蔵

令和4年度
文の京ゆかりの文化人顕彰事業

■主催／文京区 ■主管／跡見学園女子大学
■協力／一般財団法人NHK放送研修センター

朗読コンテスト

日時 | 令和4年11月13日(日) 午後1時開演

会場 | 跡見学園女子大学ブロッサムホール



日時 令和4年11月13日(日)午後1時開演 会場 跡見学園女子大学ブロッサムホール

募集要項

1 概要

文京区にゆかりの文化人の作品を朗読。
全国公募し、コンテスト形式で優秀者を選び、表彰します。

2 コンテスト内容

- (1) 事前録音審査
録音審査により、本選出場者を青少年の部・一般の部あわせて16名程度に決定します。
- 【事前録音審査応募期間】
令和4年8月29日(月)～9月2日(金)必着
応募期間前に到着した場合は受付の対象外です。
(先着200名。所定数に達し次第締め切り)
- ①参加料は、無料です。
但し、応募にかかるカセットテープ、CD、USB メモリー、郵送料は自己負担。
②結果は、応募者全員に10月上旬頃までに通知します。
なお、電話等による審査結果の問い合わせにはお答えできません。
- (2) 本選
日時: 令和4年11月13日(日) 午後1時～午後4時
会場: 跡見学園女子大学ブロッサムホール(東京都文京区大塚1-5-2)
当日はステージ上で1人3分以上4分以内で課題作の6作品の中から1作品を選択し、その作品(日本語に限る)の朗読を行います。

3 応募資格

- (1) 年齢、性別は問いません。ただし青少年の部においては23歳(※令和4年11月13日現在)以下の方が対象になります。
- (2) 本選当日、会場に来場可能な方。
- (3) コンテスト本選の際の交通費、応募にかかる諸費用等をご負担いただける方。

4 応募方法

- (1) 一人1応募とします。(応募作品1つにつき録音媒体1つに収めてください。1媒体に複数の応募作品を収めることは不可です。)
- (2) BGMや効果音の使用は不可です。
- (3) 課題作をカセットテープ、CD、USB メモリーのいずれかに録音し、郵送により応募。
- 【課題作】は次の作品の、主催者が指定した部分とします。
詳細は跡見学園女子大学、文京区のホームページ参照。

森鷗外 青年、高瀬舟、舞姫、最後の一句、雁、山椒大夫

- 1作品(指定部分は最終ページ参照)を選択し録音の上、応募提出先まで郵送。
- (4) 提出物について
①応募者本人が朗読した課題作を録音したカセットテープ、CD、USB メモリー
※録音した媒体はケースに入れ、氏名を記載してください。
※録音の最初に、応募者の名前と部門、課題作の題名を入れてください。

- ※カセットテープの場合は、必ず頭出しをしてください。
※CDの場合は、必ずCDプレイヤーで再生可能な状態(音楽CD形式)で録音してください。(パソコンで録音した場合は再生できない場合があります)。
※USBメモリーの場合は、本コンテスト用に新品のUSBメモリーを使用し、他のデータの混入は認めません。使いまわしたUSBメモリーと判明した場合や他のデータが混入している場合は審査の対象外とします。(データファイル形式は、WAV、MP3、MP4(m4a含む))
- ②応募用紙に、部門、課題作の題名、住所、氏名、年齢(青少年の部は生年月日)、電話番号、Eメールアドレス、学生等の場合は在籍校等、を明記してください。いただいた個人情報は本事業の運営上必要な限りにおいて使用します。
- ③結果通知用として返信用封筒(定形最大サイズ)に84円切手を貼り、応募者の住所・氏名を明記してください。
- ④提出したカセットテープまたはCD、USB メモリーの返却はしません。
- (5) 応募提出先および問い合わせ先
〒112-8687
東京都文京区大塚1-5-2
跡見学園女子大学
文京キャンパス事務室 朗読コンテスト係
TEL 03-3941-7420 <https://www.atomi.ac.jp/univ/>

5 審査

- (1) 事前録音審査
一般財団法人NHK放送研修センターが審査します。
- (2) 本選審査
委員長 広瀬修子氏(元跡見学園女子大学教授・元NHKアナウンサー)ほかにより審査します。
- (3) 表彰及び賞品

最優秀賞 部門ごとに1人 記念楯、図書カード1万円分
優秀賞 部門ごとに2人 記念楯、図書カード5千円分
※受賞者以外の本選出場者にも、記念品を贈呈します。
※当日のコンテストの様子を収録したDVDを本選出場者全員に1枚贈呈します。

6 観覧について

※11月13日(日)の観覧者募集については
区報ぶんきょう、文京アカデミー「スクエア」、
文京区HP、<https://www.city.bunkyo.lg.jp/>
跡見学園女子大学HP、<https://www.atomi.ac.jp/univ/>
等で募集します。

7 開催について

新型コロナウイルスの感染状況によっては、実施を中止する場合があります。その場合、文京区および跡見学園女子大学のホームページ等でお知らせします。

応募用紙

受付
番号

※ 応募用紙はキリトリ線で切り離してご利用ください。

※いただいた個人情報は本事業の運営上必要な業務目的以外には使用しません。

1 部門	2 課題作品名																																	
青少年の部 ・ 一般の部	「																																	
3 住所 〒 ー	都 道 市 区 府 県 郡																																	
4 氏名 (フリガナ) (フリガナ)	5 年齢 生年月日(青少年の部必須)																																	
姓: 名:	歳 年 月 日																																	
6 電話番号(携帯電話可)	7 在籍校名(正式名称)																																	
()																																		
8 Eメールアドレス ※O(オー)、0(ゼロ)、ー(ハイフン)、_(アンダーライン)の区別が付くように記入して下さい。	@																																	
9 過去に朗読コンテストに応募しましたか?(複数回答可) はい・いいえ ※いずれかに○(「はい」の方は以下にも○をご記入ください。)	10 録音日 年 月 日																																	
<table><tr><th>開催年度</th><th>参加した該当年度に○</th><th>本選に進んだ該当年度に○</th></tr><tr><td>平成24年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成25年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成26年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成27年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成28年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成29年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平成30年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和元年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和2年度</td><td></td><td></td></tr><tr><td>令和3年度</td><td></td><td></td></tr></table>	開催年度	参加した該当年度に○	本選に進んだ該当年度に○	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			11 今回の朗読コンテストを何でお知りになりましたか?(複数回答可) ①チラシ、ポスター ②ホームページ(跡見学園女子大学、文京区) ③区報ぶんきょう・文京アカデミー「スクエア」 ④NHK高校放送コンテスト全国大会プログラム ⑤その他 具体的に:
開催年度	参加した該当年度に○	本選に進んだ該当年度に○																																
平成24年度																																		
平成25年度																																		
平成26年度																																		
平成27年度																																		
平成28年度																																		
平成29年度																																		
平成30年度																																		
令和元年度																																		
令和2年度																																		
令和3年度																																		

朗読コンテスト

令和4年度文の京ゆかりの文化人顕彰事業

鷗外生誕160年没後100年事業

「鷗外から 鷗外へ」

【課題作】指定部分

*以下の参考書籍は文京区立図書館で所蔵しています。書店等での入手可能です。

*版によっては頁数が異なる場合があります。

作家名	作品名	参考書籍	頁	指定範囲(読み始め～読み終わり)
森 鷗外	青年	新潮文庫 『青年』 平成24年1月20日94刷	75-76頁	一体日本人は生きるということを ～増しかも知れないと思う位である。
	高瀬舟	新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 平成25年4月25日88刷	257-258頁	庄兵衛は今喜助の話を聞いて、 ～大いなる懸隔のあることを知った。
	舞姫	新潮文庫 『阿部一族・舞姫』 平成20年6月10日79刷	14-16頁	今この処を過ぎんとするとき、 ～恥ぢて我側を飛びのきつ。
	最後の一句	新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 平成25年4月25日88刷	245-246頁	この時佐佐が書院の敷居際 ^{ぎわ} まで ～引き取れ」と言い渡した。
	雁	新潮文庫 『雁』 平成20年10月5日111刷	129-130頁	お玉の目はうっとりとしたように、 ～取留 ^{ところ} のない処に帰着してしまった。
	山椒大夫	新潮文庫 『山椒大夫・高瀬舟』 平成25年4月25日88刷	185頁	むかいがわ ひとね かさ 炉の向側には茵三枚を畳ねて ～袋から出した仏像を枕元に据えた。

お問い合わせ

〒112-8687 東京都文京区大塚 1-5-2

跡見学園女子大学 文京キャンパス事務室 朗読コンテスト係

TEL: 03-3941-7420 URL: <https://www.atomi.ac.jp/univ/>